

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第30週（令和7年7月21日～令和7年7月27日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

第30週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が7件ありました。本疾患の主な症状は、腹痛や水様性下痢、血便であり、嘔吐や発熱を伴う場合もあります。菌は主に食肉等に付着しており、加熱不十分な肉を摂取すること等で感染します。調理の際は、食品の中心部まで十分に加熱（75℃で1分以上）するとともに、調理器具を介した感染を防ぐため、トングや箸等は調理用と食事用で使い分けましょう。また、患者の便に汚染された手を介して感染拡大するため、調理時、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	419	247	7,639
腸管出血性大腸菌感染症	7	110	148	1,324
E型肝炎	1	4	10	338
デング熱	1	6	3	81
日本紅斑熱	1	6	9	275
レジオネラ症	2	38	30	1,214
アメーバ赤痢	1	12	3	258
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	50	11	742
後天性免疫不全症候群	2	25	13	464
侵襲性肺炎球菌感染症	1	99	31	2,395
梅毒	12	438	188	7,715
百日咳	118	2,210	3908	52,490

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	646	5.30	1.57	12,069	3.13
インフルエンザ	81	0.66	0.95	1,146	0.30
急性呼吸器感染症	5,427	44.48	1.01	207,629	54.03
RSウイルス感染症	82	1.17	0.71	1,180	0.50
咽頭結膜熱	41	0.59	0.79	1,306	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	149	2.13	0.63	5,179	2.20
感染性胃腸炎	344	4.91	0.74	12,454	5.30
水痘	24	0.34	1.85	799	0.34
手足口病	19	0.27	0.44	1,395	0.59
伝染性紅斑（警報レベル）	203	2.90	0.98	4,881	2.08
突発性発しん	31	0.44	1.00	816	0.35
ヘルパンギーナ	78	1.11	0.33	4,401	1.87
流行性耳下腺炎	2	0.03	1.00	131	0.06
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	9	0.01
流行性角結膜炎	12	0.46	0.80	616	0.88
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	2	0.13	-	26	0.05
マイコプラズマ肺炎	12	0.80	1.00	474	0.99
クラミジア肺炎	0	0.00	-	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	1.00	8	0.02

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。